

(別紙4(2))

事業所名 NPOグループホームだいこんの花

## 2 目標達成計画

作成日: 令和 6年 1月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	虐待の防止の徹底 虐待の防止の徹底についてはミーティングや研修会などで不定期に取り上げて意見交換等に取り組んでいるが、委員会の立ち上げや議事録の保存に至っていない。	虐待の防止に向けて当グループホームの運営規程に虐待防止規定を盛り込み、常設の虐待防止委員会を設置して定期的に開催し議事録を残す。また、同規定に基づき定期的に研修会や意見交換会を開催して虐待防止に努める。	令和6年2月の運営推進会議に運営規程の見直し案を提出し、改定後の運営委規定に沿って虐待防止委員会を立ち上げ、職員研修のテーマとして虐待防止を年に複数回取り組むなどして委員会を開催し、議事録に残す取り組みをする。	4ヶ月
2	24	災害対策 ハザードマップを把握し介護用品や米等の備蓄に心がけ、消防設備の点検を実施し、社会福祉施設避難確保計画の策定しているが、BCP計画未策定で消防・防災訓練が実施できていない。	3月末までにBCP計画を策定すること。消防と防災訓練を兼ねた訓練を実施し、利用者様の安全確保に向けた職員の意識向上を図る。	BCP計画については、関市から受けた研修に基づき当施設の現状に合わせて具体化した計画を早急に策定する。消防・防災訓練については消防署及び市当局の指導を受けながら3月末までに実施する。	3ヶ月
3	25	利用者様の人格の尊重とプライバシーの確保 勤務引き継ぎの申し送りの時や毎月のミーティングなどで利用者様の思いやペースを大切にしよう話をしているが、利用者様の立場になり切れてない事例が時々見受けられる。	利用者様が何を望んで見えるか、一人の人格者として不快に感じられることはないか、などを利用者様それぞれの気持ちになって考え、接するよう心がけ、出来るだけ居心地の良い環境づくりを行う。	入浴や食事、就寝などについて、押し付けるのではなく、利用者様が自ら望まれるように気持ちの通じる介護を行う。また、自らの身に置き換えて不快なことをしていないか顧みる取り組みをする。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。